

科 目 名	社会調査の基礎					開 講 キャンパス	神 埼
担 当 者	酒 井 出						
開 講 年 次	3	開講期	前期	単位数	2	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	社会調査の意義と目的及び方法の概要について理解する。統計法の概要、社会調査における倫理や個人情報保護について理解する。量的調査の方法及び質的調査の方法について理解できるようにする。						
授 業 の 到達目標	1) 社会調査の意義と目的の理解する。 2) 統計法の概要を理解する。 3) 社会調査における倫理についての理解する。 4) 量的調査・量的調査の基本的方法を理解する。 5) 社会調査の実施にあたっての IT の活用方法について理解。 6) 質問紙、調査票が自分で作成できる。 7) 抽出法が理解でき、母集団から自分で抽出ができる。 8) 単純集計、クロス集計を理解し、集計ができる。 9) 相関と回帰について理解し、分析ができる。						
学 習 方 法	講義と講義内容をより深く理解してもらうため課題を課す。						
テキスト及び 参考書等	適宜、教材プリントを配布する。						
評 価 基 準 ・ 方 法	到達目標						
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現	評価割合%		
定期試験	◎	◎			60		
小テスト等							
宿題・授業外レポート	◎		◎		30		
授業態度							
受講者の発表							
授業への参加度			○		10		
その他							
合 計						100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	社会調査の意義と目的、社会調査の対象						
第 2 週	統計法の概要						
第 3 週	社会調査における倫理、社会調査にける個人情報保護						
第 4 週	全数調査と標本調査、横断調査と縦断調査、自計式調査と他計式調査						
第 5 週	測定						
第 6 週	質問紙の作成方法と留意点						
第 7 週	調査票の作成						
第 8 週	単純無作為抽出法						
第 9 週	系統抽質法						
第 10 週	層別多段抽出法						
第 11 週	単純集計とクロス集計						
第 12 週	検定						
第 13 週	相関と回帰						
第 14 週	質的調査（観察法と面接法）						
第 15 週	社会調査の実施と IT の活用方法						
第 16 週	テスト						
備 考	事前学習：予習課題を前の週の講義時に配布するので課題をしておくこと。 事後学習：予習課題を添削して返す。						